



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 セントケア・ホールディング株式会社

コード番号 2374 URL <https://www.saint-care.com/>

代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）藤間 和敏

問合せ先責任者 （役職名）常務取締役管理本部長 （氏名）瀧井 創 TEL 03-3538-2943

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無： 無

決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第3四半期	43,607	2.9	1,921	△5.2	2,038	△2.7	1,500	15.8
2025年3月期第3四半期	42,375	4.4	2,027	△19.4	2,095	△19.1	1,296	△26.7

（注）包括利益 2026年3月期第3四半期 1,520百万円（15.8％） 2025年3月期第3四半期 1,313百万円（△26.2％）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	60.89	60.29
2025年3月期第3四半期	52.57	52.06

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第3四半期	29,313	17,660	60.0
2025年3月期	30,483	16,865	55.1

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 17,581百万円 2025年3月期 16,785百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2026年3月期	—	0.00	—		
2026年3月期（予想）				00.00	00.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％		
通期	58,588	4.1	2,061	△15.1	2,026	△17.8	1,336	△10.2
								円 銭
								54.20

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 有

新規 2社 (社名) 愛らいふサービス株式会社及び有限会社青空
除外 2社 (社名) セントワークス株式会社及びセントケア岡山株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	25,003,233株	2025年3月期	25,003,233株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	345,750株	2025年3月期	363,831株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	24,649,503株	2025年3月期3Q	24,658,953株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、超高齢社会を背景に今後もサービスに対する需要の増加が予想されている一方で、生産年齢人口の減少とともに人材の確保がより一層厳しさを増しており、従業員の採用・定着に加えて生産性の向上が重要な経営課題となっております。また、売上高の大部分を介護・医療・障害福祉といった保険制度の報酬体系に依拠するため、価格転嫁の出来ない事業特性に対して高まるインフレ圧力や人材の獲得競争の激化などにより収益構造が大きく変化しており、これまで以上に外部環境の変化に対する柔軟な対応が求められる状況と認識しております。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高では436億7百万円（前年同期比2.9%増）となりました。2025年4月1日付でセントワークス株式会社の全株式の譲渡・連結対象外となったことによる影響（前年同期比で4億74百万円の減少）はあったものの、主に新規出店と前期での開設拠点（M&Aによる取得拠点含む）が成長を牽引しており、これに加えて2025年5月1日付で大阪府北部に営業拠点を有する愛らいいサービス株式会社、2025年7月1日付で神奈川県横浜市に営業拠点を有する有限会社青空の株式を取得（子会社化）したことも増収の要因となっております。

費用面では、増加基調となっていた外注派遣費は採用活動や配置の見直し等により減少に転じております。人件費については、人材採用と待遇改善を継続して実施していることで増加しておりますが、増員ペースとしては新規採用数に対して離職者数も同等程度発生しておりM&Aによる増員に留まっております。当初の見込みに対しては結果として人件費や採用関連費用が抑制された格好となっており、喫緊の課題として採用と定着に向けた取り組みの更なる強化が必要となっております。この他、当期よりICT基盤の全面刷新に本格着手し、デジタルシフト推進に注力することを決定し対応を進めております。基幹業務システムである介護保険請求システムの全面刷新や訪問看護及び訪問介護現場スタッフへのスマートフォンの配付などを第一段階として導入を開始しており、これらの開発コストや導入費用等が増加している一方で当初計画に対しては全体的にスケジュールが遅れて進行している影響で一部費用の発生時期が後ろ倒しとなっていること等から経費が抑制されております。

この結果、営業利益は19億21百万円（同5.2%減）、経常利益は20億38百万円（同2.7%減）となりました。その他、特別利益として関係会社株式売却益2億60百万円を計上しており、親会社株主に帰属する四半期純利益は15億円（同15.8%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの経営成績を示すと、次のとおりであります（セグメント間取引を含む）。

・介護サービス事業

訪問系サービスでは、訪問介護において既存拠点を中心に新規お客様の獲得に伴う稼働の向上などにより堅調に推移し、増収増益となりました。また、訪問看護においても既存拠点の改善が進んでいることに加えて、前期に開設した12ヶ所によりお客様数が増加し増収増益となり、訪問系サービス全体でも増収増益となりました。

施設系サービスでは、看護小規模多機能型居宅介護とデイサービスで前期に開設した拠点の収益改善が進み増収増益となりました。一方で、有料老人ホームで減益となっておりますが、施設系サービス全体では前期から今期にかけてM&Aで取得した拠点の貢献により収益基盤が拡大し増収増益となりました。

これらの結果、売上高は432億41百万円（前年同期比4.0%増）、営業利益は16億14百万円（同22.2%増）となりました。

なお、当社が推し進めております「コミュニティNo.1戦略」については、当第3四半期連結累計期間末日において58ヶ所で活動しており、今期においても積極的にエリアを拡大してまいります。

・その他

その他においては、セントワークス株式会社の全株式を譲渡し連結の範囲から除外したことにより、売上高と利益が減少しました。その結果、売上高は4億14百万円（前年同期比60.7%減）、営業利益は23百万円（同75.5%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末（以下「前期末」という）より11億70百万円（前期末比3.8%）減少し、293億13百万円となりました。

流動資産は、前期末より6億68百万円（同3.9%）減少し、164億3百万円となりました。これは主に現金及び預金が94百万円増加した一方で、流動資産「その他」に含まれております未収入金が4億69百万円、売掛金が3億6百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前期末より5億2百万円（同3.7%）減少し、129億10百万円となりました。これは主に投資その他

の資産が3億28百万円、有形固定資産が1億98百万円減少したことによるものであります。

流動負債は、前期末より8億86百万円(同11.9%)減少し、65億56百万円となりました。これは主に未払金が6億89百万円、流動負債「その他」に含まれております預り金が2億86百万円増加した一方で、賞与引当金が7億51百万円、1年内返済予定の長期借入金が5億74百万円、未払法人税等が4億42百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前期末より10億79百万円(同17.5%)減少し、50億96百万円となりました。これは主に長期借入金10億20百万円、リース債務が1億36百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前期末より7億95百万円(同4.7%)増加し、176億60百万円となりました。これは主に利益剰余金が7億61百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績を踏まえたうえで、通期の業績予想につきましては、2025年5月15日に発表いたしました業績予想から変更はありません。今後、何らかの事情により業績予想から変更が生じた場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,186,572	7,280,751
売掛金	8,766,303	8,459,748
棚卸資産	71,783	77,470
その他	1,060,878	601,160
貸倒引当金	△14,444	△16,095
流動資産合計	17,071,094	16,403,035
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,119,743	4,980,774
リース資産（純額）	2,210,940	2,029,084
その他（純額）	1,172,996	1,295,116
有形固定資産合計	8,503,680	8,304,976
無形固定資産		
のれん	377,419	576,142
その他	376,425	203,162
無形固定資産合計	753,845	779,305
投資その他の資産		
差入保証金	2,043,451	2,009,328
その他	2,111,825	1,817,022
投資その他の資産合計	4,155,276	3,826,351
固定資産合計	13,412,802	12,910,633
資産合計	30,483,896	29,313,668
負債の部		
流動負債		
買掛金	540,607	550,220
1年内返済予定の長期借入金	577,736	2,964
リース債務	178,366	181,967
未払金	3,453,692	4,143,610
未払法人税等	613,705	171,201
賞与引当金	1,400,964	649,304
その他	677,231	856,978
流動負債合計	7,442,303	6,556,246
固定負債		
長期借入金	1,045,902	25,194
リース債務	2,606,601	2,469,711
退職給付に係る負債	2,283,722	2,336,400
資産除去債務	171,882	190,122
その他	68,268	75,412
固定負債合計	6,176,376	5,096,841
負債合計	13,618,680	11,653,087

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,773,080	1,773,080
資本剰余金	1,729,913	1,728,980
利益剰余金	13,670,362	14,431,545
自己株式	△299,615	△284,638
株主資本合計	16,873,741	17,648,967
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△87,764	△67,626
その他の包括利益累計額合計	△87,764	△67,626
新株予約権	79,239	79,239
純資産合計	16,865,215	17,660,580
負債純資産合計	30,483,896	29,313,668

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	42,375,123	43,607,467
売上原価	37,240,539	38,081,203
売上総利益	5,134,583	5,526,264
販売費及び一般管理費	3,107,094	3,604,815
営業利益	2,027,489	1,921,448
営業外収益		
受取利息	4,548	3,703
受取配当金	2,858	2,211
受取保険金	13,338	17,866
受取家賃	36,527	40,517
補助金収入	77,137	90,745
助成金収入	14,373	10,408
持分法による投資利益	—	3,334
その他	31,922	57,674
営業外収益合計	180,706	226,462
営業外費用		
支払利息	90,568	85,780
持分法による投資損失	6,660	—
その他	15,119	23,165
営業外費用合計	112,349	108,945
経常利益	2,095,846	2,038,965
特別利益		
固定資産売却益	736	2,261
補助金収入	155,752	4,290
関係会社株式売却益	—	260,180
その他	424	—
特別利益合計	156,912	266,732
特別損失		
固定資産除却損	1,119	1,534
固定資産圧縮損	155,206	3,842
減損損失	—	14,145
特別損失合計	156,325	19,522
税金等調整前四半期純利益	2,096,433	2,286,174
法人税等	800,021	785,361
四半期純利益	1,296,411	1,500,813
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,296,411	1,500,813

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	1,296,411	1,500,813
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	17,481	20,138
その他の包括利益合計	17,481	20,138
四半期包括利益	1,313,893	1,520,951
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,313,893	1,520,951

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	671,931千円	624,584千円
のれんの償却額	67,215	71,832

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	介護サービス事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	41,562,737	41,562,737	812,385	42,375,123
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	243,037	243,037
計	41,562,737	41,562,737	1,055,423	42,618,160
セグメント利益	1,320,455	1,320,455	95,223	1,415,678

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アウトソーシング受託サービス、介護保険請求ASPシステムの販売等の各事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,320,455
「その他」の区分の利益	95,223
セグメント間取引消去	2,482,503
のれんの償却額	213
全社費用(注)	△1,870,906
四半期連結損益計算書の営業利益	2,027,489

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	介護サービス事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	43,241,753	43,241,753	365,714	43,607,467
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	48,848	48,848
計	43,241,753	43,241,753	414,563	43,656,316
セグメント利益	1,614,139	1,614,139	23,329	1,637,468

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アウトソーシング受託サービス、介護ロボットの企画・販売等の各事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,614,139
「その他」の区分の利益	23,329
セグメント間取引消去	2,544,238
のれんの償却額	142
全社費用（注）	△2,260,400
四半期連結損益計算書の営業利益	1,921,448

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「介護サービス事業」セグメントにおいて、株式取得により愛らいふサービス株式会社を子会社化しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては251,747千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(株式併合、単元株式数の定め廃止及び定款一部変更)

当社は、2026年1月16日開催の取締役会において、株式併合並びに単元株式数の定め廃止及び定款一部変更について、2026年2月18日に開催予定の当社の臨時株主総会に付議する旨の決議をいたしました。

なお、当社の普通株式（以下「当社株式」といいます。）は、上記手続の過程において、株式会社東京証券取引所の有価証券上場規程に定める上場廃止基準に該当することとなります。これにより、当社株式は、2026年2月18日から2026年3月12日まで整理銘柄に指定された後、2026年3月13日に上場廃止となる見込みです。

詳細については、2026年1月16日付で公表した「株式併合並びに単元株式数の定め廃止及び定款の一部変更に関するお知らせ」をご参照ください。

(自己株式の消却)

当社は、2026年1月16日開催の取締役会において、会社法（平成17年法律第86号。その後の改正も含みます。）第178条の規定に基づき、当社が所有する自己株式を消却することを決議いたしました。詳細については、2026年1月16日付で公表した「自己株式の消却に関するお知らせ」をご参照ください。